

三戸中央病院経営強化プランの点検・評価  
(令和5年度、6年度実績)

資料 2

対象期間		令和5年度					令和9年度		
病院の現状	令和5年度当初の許可病床数 (令和5年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計		
	令和5年度中の許可病床数の変更状況	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計		
	令和6年度当初の許可病床数 (令和6年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計		
	令和6年度中の許可病床数の変更状況	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計		
	(1) 役割・機能の最適化	① 地域医療構想を踏まえた役割	【計画概要】	八戸地域の現状・課題として、①500～400床の中規模の病院が併存しており、診療機能の重複、医師の減による機能低下が考えられ、また、一部自治体病院では病床利用率の低迷がみられ、再編・ネットワーク化の検討が必要である。②三戸・田子地域は、人口減少の中でへき地等医療提供体制の整備を図る必要がある。と認識されています。					
			【具体的な取り組み】	令和6年度末に一般病床を12床削減(57床→45床)した。地域包括ケア病床・療養病床については病床数を維持(地域包括ケア20床、療養19床)した。総病床数は96床から84床となった。					
		② 地域包括ケアシステムにおける役割	【計画概要】	当地域の医療を守るため、医療連携室が中心となり、市町村地域包括支援センター、ケアマネージャー等関係者と連携し、切れ目のない医療・介護・福祉について中核的な役割を担い、地域包括ケアシステムの機能を果たします。					
			【具体的な取り組み】	令和5年度:1,079件(訪問診療655件、訪問看護185件、訪問リハビリ239件) 令和6年度:1,089件(訪問診療573件、訪問看護117件、訪問リハビリ399件)					
③ 機能分化・機能連携		【計画概要】	救急機能 田子診療所等からの医師応援の継続と、八戸市立市民病院から八戸圏域連携中枢都市圏事業による宿日直医師の派遣協力を得ながら、24時間365日の二次救急機能を維持します。						
		【具体的な取り組み】	田子診療所からの宿日直応援医師の受入れ、非常勤宿日直医師の確保により、二次救急機能を維持した。救急患者数 令和5年度:2,181人、令和6年度:2,062人						

④ 新興感染症対応	<p>【計画概要】 新興感染症の感染拡大に備え、感染防止対策委員会が中心となり、院内感染対策の徹底、有事に備えた研修・訓練の実施、新興感染症に備えた対応方針を作成し、共有します。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・感染防止対策委員会や院内感染ラウンド、ICTメンバーによる打合せを定期的実施した。 ・感染対策研修会を開催した。</p>	
⑤ 一般会計負担の考え方	<p>【計画概要】 一般会計が負担すべき経費の範囲を明確化し、基準額・算出根拠を遵守します。効率的な経営を行ってもなお生じる資金不足については、年度毎に上限額を設定したうえで、一般会計が解消を支援します。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・繰出基準による一般会計繰入金のほか、資金不足解消のため基準外の繰入れを行った。 一般会計繰入金(うち基準外) 令和5年度:651,467千円(76,873千円)、令和6年度:717,693千円(150,080千円)</p>	
⑥ 住民の理解	<p>【計画概要】 毎月発行の広報チラシ「さんびょうだより」に加え、ホームページ、LINE等の各種SNSの活用により、病院に関する情報を積極的に発信し、町民の病院に対する理解を深めるための活動を実施します。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・さんびょうだよりの発行のほか、ホームページ、SNS(LINE、X、Instagram)により情報を発信した。</p>	
② 組織・体制・マネジメントの強化	① 医師・看護師等の確保	<p>【計画概要】 医師の確保については、研修費用の負担、医師事務作業補助者の配置の充実等これまでの取組みを継続するとともに、青森県からの派遣により、常勤医師7名体制を維持します。非常勤医師については、今後も、派遣元との情報交換・相談を密に継続し、維持・確保に努めます。 看護師等医療従事者については、新卒・中途採用に向けた採用試験の実施、青森県が実施する「看護師・薬剤師共同採用試験」の活用のほか、病院単独の独自採用試験、転職希望者向けの個別選考採用試験の随時の実施など、看護師、医療技術員の確保に努めます。 当院の地域における役割の周知や現職員の働き方等の情報を積極的に発信していくと同時に、多様な勤務形態の検討や職員採用の柔軟化、キャリアアップのための研修参加等の人材育成に向けた取組、働きやすい職場環境にするための勤務環境整備等、多様な手段を講じ、令和4年度末と比較して常勤看護師を3名以上増員し、医療技術員は現員数を維持するよう取り組みます。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・常勤医師7名体制を維持した。 ・派遣元(青森県や弘前大学医学部など)に対し、訪問や来院時の面談により、派遣継続の要望活動を行った。 ・看護師、医療技術職員の採用のため、定期採用試験のほか、青森県共同採用試験への参加、随時採用試験の実施、人材紹介会社の活用を行った。 看護師職員数(うち常勤職員数) 令和5年度末:63名(53名)、令和6年度末:67名(58名) 医療技術員職員数(うち常勤職員数) 令和5年度末:24名(20名)、令和6年度末:24名(22名)</p>
	② 医師の働き方改革への対応	<p>【計画概要】 医師の時間外労働の削減に向けた取組として、①適切な労務管理の推進②タスクシフト/タスクシェアの推進③ICTの活用④医師会や近隣医療機関との連携といった取り組みが必要とされています。 医師の「自己研鑽」と「労働時間」の区別について、令和6年4月の医師の時間外労働規制開始までに明文化し、正確な労働時間管理を行うよう努めます。 医師事務作業補助者の配置の充実や他職種間の役割分担について、検討を継続します。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・医師の労働時間管理、医師事務作業補助者の配置等を継続して実施した。 ・令和6年度に電子カルテシステムを更新した。 ・非常勤の宿日直医師の派遣により、常勤医師の勤務環境を改善した。</p>
	③ 事務局体制の強化	<p>【計画概要】 事務職員の庁内他部門との人事異動により専門性の高い事務職員の育成が難しいため、業務の可視化・標準化により、業務分担を容易にできるようにし、業務の効率化を図ります。 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進の対応として、ICTに精通した人材の育成、システムの有効活用とセキュリティの強化を図るため、人材の確保・育成、外部への委託など外部人材の活用も含め、専門性の高い職員の確保に取り組みます。 外部研修への参加によるスキルアップ、専門事業者の活用や外部人材による経営指導を継続しながら、業務改善と人材育成に取り組みます。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・研修に参加し、スキルアップを図った。 ・外部人材による経営指導を継続して実施した。</p>

③ 施設・設備の最適化	① 施設・設備の適正管理	<p>【計画概要】 医療機器等の更新は、診療上の必要度等について検討し、適宜更新を行います。 建物等の基幹設備は、これまで計画的な設備更新は行われていませんが、建物の経年劣化に伴い、今後は順次更新時期を迎えることが想定されており、障害発生時の影響、設備更新や改修にかかる多額の費用が懸念されるため、メンテナンス計画を策定し、計画的な設備更新を行います。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・老朽化している医療機器の更新を実施した。 令和5年度：内視鏡システム等、令和6年度：医療用画像管理システム</p>
	② 新興感染症対策のための整備	<p>【計画概要】 新型コロナウイルス感染症対策のための整備を参考に、院内設備の適切な整備について検討を行います。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・新興感染症対策のための院内設備の整備は、引き続き検討することとした。</p>
	③ デジタル化への対応	<p>【計画概要】 平成30年度に導入済みの電子カルテシステムについて、令和6年度において、新システムへの更新を行う予定であり、システムの有効活用により、医療事務の更なる効率化を図ります。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・令和6年度に電子カルテシステムの更新を実施した。</p>
	④ 施設・設備等の他用途への転用	<p>【計画概要】 現在、利用を休止している2階病棟について、公的施設への転用等有効活用を検討します。新改革プランでは、老人保健施設等への転換を含めた施設の活用と収益向上を図る計画でしたが、運営に必要な職員確保が進まず、老人保健施設等への転換は行われないうまま現在に至っています。 大きな支出を伴う設備転換は費用支出の観点から現実的に難しく、慎重な検討が必要となります。</p> <p>【具体的な取り組み】 ・2階病棟の転用等有効活用は、引き続き検討することとした。</p>

④ 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標	上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度							
	1) 収支改善に係るもの	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	経常収支比率(%)	103.5	120.1	99.8 102.8%	99.8 91.3%	100.0	100.2	100.3	
	医業収支比率(%)	78.2	73.7	71.4 101.7%	77.4 91.2%	77.7	78.0	78.2	
	修正医業収支比率(%)	71.3	67.0	64.5 102.0%	70.6 90.7%	70.9	71.2	71.4	
	資金不足比率(%)	29.1	6.3	5.7 24.6%	4.2 164.3%	2.9	1.3	—	
	2) 収入確保に係るもの	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	1日平均患者数入院(人)	66.3	54.6	54.0 95.0%	67.0 85.4%	68.0	69.0	69.0	
	1日平均患者数外来(人)	190.7	187.4	168.0 104.7%	184.0 96.3%	181.0	179.0	175.0	
	病床数(床)	96.0	96.0	96.0 100.0%	96.0 87.5%	84.0	84.0	84.0	
	病床利用率(%)	69.1	56.8	56.3 94.8%	69.8 85.4%	78.2	82.1	82.1	
	3) 経費削減に係るもの	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	給与費対医業収益比率(%)	76.2	77.6	78.8 100.4%	73.6 107.9%	73.9	74.2	74.6	
	材料費対医業収益比率(%)	9.3	10.5	10.5 99.0%	9.4 127.7%	9.4	9.4	9.4	

4)経営の安定性に係るもの	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
職員数 常勤医師(人)	8	7	7	7	7	7	7	
			100.0%	100.0%				
職員数 常勤看護師(人)	55	54	53	55	56	57	57	
			100.0%	105.5%				
企業債残高(千円)	1,881,983	1,647,997	1,416,188	1,176,567	936,950	700,485	459,394	
			100.0%	100.0%				

② 病院機能に係る数値目標

1)医療機能に係るもの	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
救急患者数(人)	1,538	1,648	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
			136.3%	128.9%				
訪問診療件数(件)	724	637	720	720	720	720	720	
			91.0%	79.6%				
訪問看護件数(件)	233	189	240	240	240	240	240	
			77.1%	48.8%				
訪問リハビリ件数(件)	252	192	240	240	240	240	240	
			99.6%	166.3%				
2)連携強化に係るもの	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
紹介数(件)	435	469	470	470	480	490	500	
			98.9%	110.6%				
逆紹介数(件)	999	1,069	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			100.1%	106.2%				

③ 経営改善に向けた具体的な取組

1)役割・機能の最適化	計画	実績
病床数の見直し	現在の96床(一般57床、地域包括ケア20床、療養19床)から、地域医療構想における推計年である令和7年までに84床(一般45床、地域包括ケア20床、療養19床)に減床し、令和9年度まで削減後の病床数・病床機能を維持します。	令和6年度末に12床減床 一般 57床 45床 地域包括ケア 20床 → 20床 療養 19床 19床 計 96床 84床
後方支援機能の強化	中核病院の後方支援機能を果たすため、病床の稼働状況や受入れ可能病状等の情報を積極的に連絡・共有し、八戸市立市民病院・八戸赤十字病院等で高度な医療を受診した患者の受入れを強化します。	紹介件数(うち八戸市立市民病院) 令和5年度:465件(109件) 令和6年度:520件(129件)
救急機能の維持	非常勤医師による応援の継続・拡充と、八戸圏域連携中核都市圏事業による八戸市立市民病院からの宿日直医師の派遣により、二次救急機能を維持します。	・田子診療所等からの宿日直医師の派遣により、二次救急機能を維持 ・救急患者数 令和5年度:2,181人 令和6年度:2,062人
非常勤診療科の検討	八戸市立市民病院から、整形外科医と脳神経外科医の派遣を受け、地域で医療サービスを受けられる体制を維持します。 近接する病院と役割・機能が重複する非常勤診療科については、病院間の役割分担・連携強化を検討します。	・八戸圏域連携中核都市圏事業による整形外科医と脳神経外科医の派遣の継続 ・近接病院との非常勤診療科の役割分担・連携強化は引き続き検討
人工透析治療の効率化等	人工透析治療が必要な患者の受入体制を維持しながら、透析治療に従事する看護師等が他の業務を支援できる体制を構築し、効率的な外来運用を目指します。	・人工透析治療が必要な患者の受入体制を維持 ・人工透析件数 令和5年度:3,218件 令和6年度:3,774件

田子診療所との医療連携の維持	田子診療所との医師の相互派遣、患者の受入れ等を継続し、三戸・田子地域の医療提供体制を維持します。町内及び近隣町の介護施設からの患者受入れを継続し、地域住民の在宅復帰を支援します。	・田子診療所との医師の相互派遣等を継続して実施 ・介護施設からの患者受入れを継続して実施
在宅医療機能の維持	高齢化により需要の増加が見込まれることから、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ機能の提供体制を維持します。	・訪問診療件数 令和5年度:655件、令和6年度:573件 ・訪問看護件数 令和5年度:185件、令和6年度:117件 ・訪問リハビリ件数 令和5年度:239件、令和6年度:399件
一般会計負担の見直し	病院施設の規模と患者数の差異が拡大し、効率的な経営を行ってもなお資金不足が生じる経営状況であるため、計画期間中は一般会計が基準外繰出により資金不足の解消を支援します。	一般会計繰入金(うち基準外) 令和5年度:651,467千円 (76,873千円) 令和6年度:717,693千円 (150,080千円)
2)組織・体制・マネジメントの強化	計画	実績
医師の確保	医師奨学金貸与事業、医師住宅の確保、研修費用の負担、医師事務作業補助者の配置等、これまでの取り組みを継続し、青森県立中央病院からの派遣を受け、常勤医師7名体制を維持します。	常勤医師数 令和5年度末:7名 令和6年度末:7名
看護師・医療技術員の確保	新卒・中途の採用に向けた採用試験の実施、「看護師共同採用試験」「薬剤師共同採用試験」の活用等これまでの取組に加え、夜勤専従・短時間勤務等の多様な勤務形態の導入、随時採用や人材紹介・人材派遣会社の活用等の職員採用の柔軟化により、看護師、医療技術員の確保に努めます。	・看護師等職員数(うち常勤職員数) 令和5年度末:63(53) 令和6年度末:67(58) ・医療技術員職員数 令和5年度末:24(20) 令和6年度末:24(22)
医師の働き方改革への対応	医師の「自己研鑽」と「労働時間」の区別について、令和6年4月の医師の時間外労働規制開始までに明文化し、正確な労働時間管理を行うよう努めます。医師事務作業補助者の配置の充実や他職種間の役割分担について、検討を継続します。	・医師の労働時間管理、医師事務作業補助者の配置等を継続して実施 ・非常勤の宿日直医師の派遣により、常勤医師の勤務環境を改善
事務局体制の強化	ICTに精通した人材の確保・育成、外部への委託など外部人材の活用も含め、専門性の高い職員の確保に取り組みます。研修参加によるスキルアップ、外部人材による経営指導を継続し、業務改善と人材育成に取り組みます。	研修参加、外部人材による経営指導を継続して実施
3)施設・設備の最適化	計画	実績
施設・設備の適正管理	医療機器等の更新は、診療上の必要度・採算性・コストについて、関係部署・事務局を経て管理会議で検討し、適宜更新を行います。基幹設備についてはメンテナンス計画を策定し、計画的な更新を行います。	医療機器の更新 令和5年度:内視鏡システム等 令和6年度:医療用画像管理システム等
デジタル化への対応	既に導入済みの電子カルテシステムについて、令和6年度において、新システムへの更新を行い、医療事務の更なる効率化を図ります。	電子カルテシステムは、令和6年度に新システムへ更新済み
施設・設備等の他用途への転用	現在、利用を休止している2階病棟について、公的施設への転用等有効活用を検討し、施設・設備の最適化を図ります。	2階病棟の転用等有効活用は引き続き検討
総合評価	<p>役割・機能の最適化では、一般病床の削減により、病床数の適正化を図りつつ、予定した病床機能、医療提供体制を維持したことや、介護・福祉・行政との連携、在宅医療の提供、24時間体制での二次救急の受入れ、高度急性期病院の後方医療機関としての回復期患者の受入れなど、概ね計画どおり実施した。非常勤診療科については、医療需要を勘案しつつ、他医療機関との機能分化を引き続き検討する必要がある。</p> <p>組織・体制・マネジメントの強化では、概ね計画どおり実施したが、職員の確保、医師の働き方改革への対応、ICTに精通した人材の育成を強化する必要がある。</p> <p>施設・設備の最適化では、医療機器は適宜、更新を行った。今後、施設や設備の更新、転用について検討を進める必要がある。</p> <p>経営の効率化では、令和5年度は補助金により計画値を上回る経常黒字となったが、令和6年度はコロナ禍で減少した入院患者数の回復が鈍いことや人件費、材料費等の高騰により、収支は赤字となり、これに伴い、経営指標も計画値を下回る結果となった。</p> <p>病院経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっているが、地域医療の維持・継続のため、経営強化プランの推進を図る。</p>	

(5) 収支計画

【収益的収支】

(単位：千円、%)

区 分	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度			R6年度			R7年度 計画
			計画①	実績②	差引②-①	計画①	実績②	差引②-①	
収 入									
1. 医 業 収 益 a	1,289,600	1,208,185	1,139,644	1,148,341	8,697	1,253,922	1,214,935	▲ 38,987	1,258,195
(1) 料 金 収 入	1,123,476	1,039,462	984,713	996,583	11,870	1,104,916	1,044,611	▲ 60,305	1,109,379
入 院 収 益	706,560	613,818	588,720	580,461	▲ 8,259	712,609	633,852	▲ 78,757	721,732
外 来 収 益	416,916	425,644	395,993	416,122	20,129	392,307	410,759	18,452	387,647
(2) そ の 他	166,124	168,723	154,931	151,758	▲ 3,173	149,006	170,324	21,318	148,816
う ち 他 会 計 負 担 金	112,909	109,723	110,383	106,821	▲ 3,562	110,383	112,717	2,334	110,383
う ち 基 準 内 繰 入 金	112,909	109,723	110,383	106,821	▲ 3,562	110,383	112,717	2,334	110,383
う ち 基 準 外 繰 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 医 業 外 収 益	512,605	871,097	534,989	559,137	24,148	438,668	435,268	▲ 3,400	432,213
(1) 他 会 計 負 担 金	254,257	264,950	247,024	242,920	▲ 4,104	244,118	239,659	▲ 4,459	241,155
う ち 基 準 内 繰 入 金	254,256	264,949	247,024	242,920	▲ 4,104	244,118	239,659	▲ 4,459	241,155
う ち 基 準 外 繰 入 金	1	1	0	0	0	0	0	0	0
(2) 他 会 計 補 助 金	66,997	61,414	60,941	71,385	10,444	60,941	59,729	▲ 1,212	60,941
(3) 国 ( 県 ) 補 助 金	75,044	420,184	93,399	109,911	16,512	3,399	7,343	3,944	3,399
(4) 長 期 前 受 金 戻 入	104,531	112,821	122,435	122,435	0	119,020	117,929	▲ 1,091	115,528
(5) そ の 他	11,776	11,728	11,190	12,486	1,296	11,190	10,608	▲ 582	11,190
経 常 収 益 (A)	1,802,205	2,079,282	1,674,633	1,707,478	32,845	1,692,590	1,650,203	▲ 42,387	1,690,408
支 出									
1. 医 業 費 用 b	1,649,310	1,638,672	1,596,755	1,582,478	▲ 14,277	1,619,618	1,721,171	101,553	1,619,535
(1) 職 員 給 与 費	982,649	937,261	897,972	907,815	9,843	923,172	964,560	41,388	930,172
基 本 給	450,903	404,350	389,702	393,357	3,655	396,902	406,738	9,836	400,502
そ の 他	531,746	532,911	508,270	514,458	6,188	526,270	557,822	31,552	529,670
(2) 材 料 費	119,666	126,792	120,180	119,769	▲ 411	117,683	145,362	27,679	118,154
う ち 薬 品 費	77,629	81,932	77,615	77,414	▲ 201	76,350	95,215	18,865	76,658
(3) 経 費	425,280	438,375	433,357	408,879	▲ 24,478	436,139	464,998	28,859	435,686
う ち 委 託 料	153,163	163,159	165,507	163,484	▲ 2,023	167,422	198,934	31,512	167,790
(4) 減 価 償 却 費	117,640	127,865	135,981	135,980	▲ 1	131,449	130,060	▲ 1,389	129,004
(5) そ の 他	4,075	8,379	9,265	10,035	770	11,175	16,191	5,016	6,519
2. 医 業 外 費 用	92,043	92,477	82,065	82,075	10	76,427	89,825	13,398	70,802
(1) 支 払 利 息	39,491	34,613	29,906	29,788	▲ 118	25,540	25,233	▲ 307	21,091
う ち 一 時 借 入 金 利 息	1,055	715	500	383	▲ 117	500	192	▲ 308	500
(2) そ の 他	52,552	57,864	52,159	52,287	128	50,887	64,592	13,705	49,711
経 常 費 用 (B)	1,741,353	1,731,149	1,678,820	1,664,553	▲ 14,267	1,696,045	1,810,996	114,951	1,690,337
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	60,852	348,133	▲ 4,187	42,925	47,112	▲ 3,455	▲ 160,793	▲ 157,338	71
特 別 損 益									
1. 特 別 利 益 (D)	23,830	0	64,986	66,285	1,299	65,842	133,674	67,832	69,884
う ち 他 会 計 繰 入 金	23,830	0	64,986	66,285	1,299	65,842	133,674	67,832	69,884
2. 特 別 損 失 (E)	66	211	100	277	177	100	223	123	100
特 別 損 益 (D)-(E) (F)	23,764	▲ 211	64,886	66,008	1,122	65,742	133,451	67,709	69,784
純 損 益 (C)+(F)	84,616	347,922	60,699	108,933	48,234	62,287	▲ 27,342	▲ 89,629	69,855
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (又 は 未 処 理 欠 損 金) (G)	▲ 1,588,852	▲ 1,240,930	▲ 1,180,231	▲ 1,131,998	48,233	▲ 1,117,944	▲ 1,159,339	▲ 41,395	▲ 1,048,089

・令和5年度は計画策定年度であったことから、概ね計画どおり推移した中で、収入において外来収益や補助金(新型コロナウイルス感染症病床確保事業費補助金)が計画値を上回ったほか、支出において経費が計画値を下回ったことで、純損益が計画値を48,234千円上回る108,933千円の黒字決算となった。

・令和6年度は、収入において外来収益は計画値を上回ったものの、コロナ禍で減少した入院患者数の回復が鈍かったことで、入院収益が計画値を下回り、また、支出においては、給与改定などにより職員給与費が増加し、賃金の引上げ、資材の高騰により経費、材料費が増加した。給与改定による職員給与費の増加分などを特別利益(一般会計繰入金)で補填したが、不足額全体の補填には至らず、計画値を89,629千円下回る27,342千円の赤字決算となった。

【資本的収支】

区 分	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度			R6年度			R7年度 計画
			計画①	実績②	差引②-①	計画①	実績②	差引②-①	
1. 企 業 債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 他 会 計 負 担 金	159,162	162,199	168,133	164,056	▲ 4,077	187,507	171,914	▲ 15,593	176,423
うち基準内繰入金	148,275	151,116	155,506	153,468	▲ 2,038	167,162	155,508	▲ 11,654	161,989
うち基準外繰入金	10,887	11,083	12,627	10,588	▲ 2,039	20,345	16,406	▲ 3,939	14,434
4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 国 ( 県 ) 補 助 金	80,349	73,465	38,936	28,554	▲ 10,382	40,000	9,857	▲ 30,143	0
7. 工 事 負 担 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 固 定 資 産 売 却 代 金	0	1,485	0	0	0	0	10	10	0
9. そ の 他	1,000	950	0	0	0	0	0	0	0
収 入 計 (a)	240,511	238,099	207,069	192,610	▲ 14,459	227,507	181,781	▲ 45,726	176,423
うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度同意等債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	240,511	238,099	207,069	192,610	▲ 14,459	227,507	181,781	▲ 45,726	176,423
1. 建 設 改 良 費	90,759	83,730	52,286	37,827	▲ 14,459	73,004	19,552	▲ 53,452	21,182
うち職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 企 業 債 償 還 金	229,009	233,986	231,809	231,809	0	239,621	239,621	0	239,616
うち建設改良のための企業債分	229,009	233,986	231,809	231,809	0	231,906	231,906	0	231,901
うち災害復旧のための企業債分	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. そ の 他	400	600	1,200	600	▲ 600	1,200	1,800	600	1,200
うち繰延勘定	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支 出 計 (B)	320,168	318,316	285,295	270,236	▲ 15,059	313,825	260,973	▲ 52,852	261,998
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	79,657	80,217	78,226	77,626	▲ 600	86,318	79,192	▲ 7,126	85,575
補てん財源									
1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	79,657	80,217	78,226	77,626	▲ 600	86,318	79,192	▲ 7,126	85,575
2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	79,657	80,217	78,226	77,626	▲ 600	86,318	79,192	▲ 7,126	85,575
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ・令和5年度、令和6年度ともに新たな借入を行わず、計画どおりの償還を行った。
- ・令和5年度は、補助金(へき地医療拠点病院設備整備費補助金、国民健康保険保険給付費等交付金特別交付金)を活用し、内視鏡システムなどを更新した。また、薬学生1名に対し、奨学金60万円(月額5万円×12月)の貸付を行った。
- ・令和6年度は、補助金(へき地医療拠点病院設備整備費補助金、国民健康保険保険給付費等交付金特別交付金)を活用し、医療用画像管理システムなどを更新した。また、薬学生1名に対し、奨学金180万円(月額15万円×12月)の貸付を行った。

【一般会計繰出金】

区 分	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度			R6年度			R7年度 計画
			計画①	実績②	差引②-①	計画①	実績②	差引②-①	
収 益 的 収 支	(23,831)	(1)	(64,986)	(66,285)	(1,299)	(65,842)	(133,674)	(67,832)	(69,884)
	457,993	436,087	483,334	487,411	4,077	481,284	545,779	64,495	482,363
資 本 的 収 支	(10,887)	(11,083)	(12,627)	(10,588)	(▲2,039)	(20,345)	(16,406)	(▲4,157)	(14,434)
	159,162	162,199	168,133	164,056	▲ 4,077	187,507	171,914	▲ 15,593	176,423
合 計	(34,718)	(11,084)	(77,613)	(76,873)	(▲740)	(86,187)	(150,080)	(63,893)	(84,318)
	617,155	598,286	651,467	651,467	0	668,791	717,693	48,902	658,786

※ 上段の括弧書き数値は、うち基準外繰出金である。

- ・令和5年度一般会計繰入金は、収益的収支487,411千円、資本的収支164,056千円、総額651,467千円となった。基準内繰入金は計画値から740千円増の574,594千円、基準外繰入金は計画値から740千円減の76,873千円となった。
- ・令和6年度は、給与改定による職員給与費の増加分などの補填のため、繰入金総額は計画値を上回る717,693千円となった。基準内繰入金は建設改良費の圧縮により、計画値から14,991千円減の567,613千円、基準外繰入金は特別利益への充当などにより計画値から63,893千円増の150,080千円となった。